

日産車体株式会社
個人投資家向け会社説明資料

日本のモノづくりを世界へ

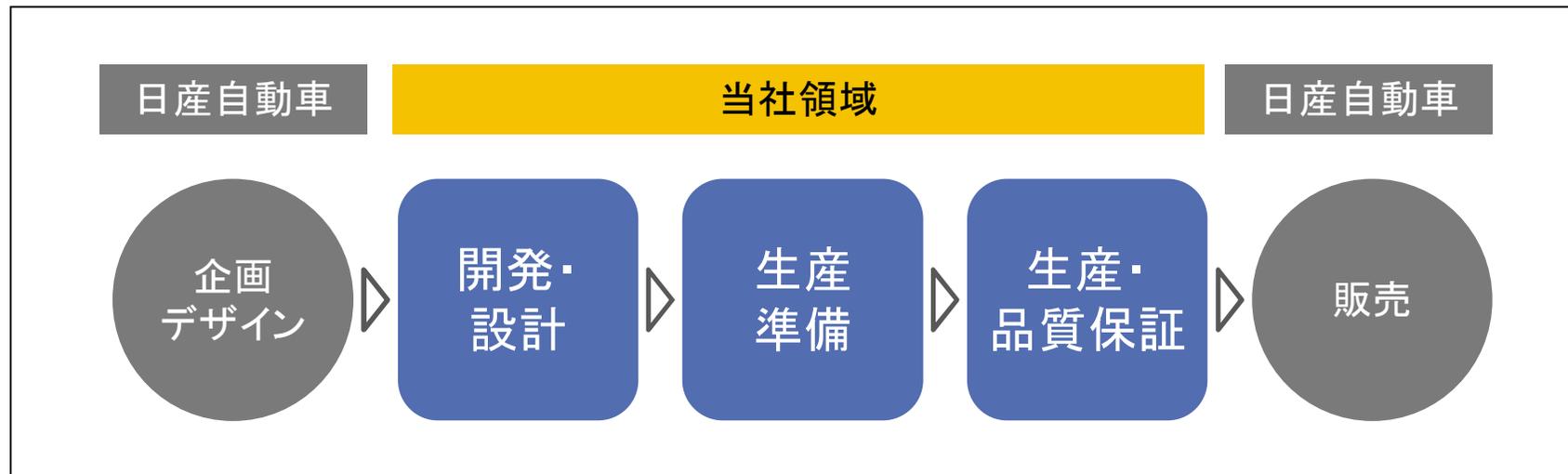


2018年11月

Outline



日産車体は、
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・フレーム車」の分野を中心に、
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

フレーム車:トラックやバスに採用される頑丈な梯子フレームにパワートレーンなど走行機能搭載し、その上にキャabinを搭載する構造の車。当社製品:大型SUVのパトロール、インフィニティQX80,小型トラックのパトロールピックアップ、アトラスF24、マイクロバスのシビリアン

グループのご紹介

日産車体グループ



湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,887名	1,120名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2018年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニュファクチャリング株式会社

- ▶ 日産車体のプレス部品の製造

日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流



- ▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス



- ▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

グループのご紹介

沿革



2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。
2014年には湘南地区の再編を完了。

年月	社歴
2017年	10月、湘南工場第2地区にて「新型アルマーダ」の補完生産開始
2016年	10月、日産車体九州で日産の国内車両工場初の3班3交替体制での生産開始
2016年	6月、日産車体九州で北米向け大型SUVの「新型アルマーダ」生産開始
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立／生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産
(日産車体九州)



インフィニティ QX80

▶ LCVでグローバル展開をリード



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 日産車体のルーツを作ったフェアレディZ



グループのご紹介

主な生産車



湘南工場



NV200
EVANITY
NV200 バネット



NV150
AD



ARMADA
アルマダ



NV200
NV200 タクシー



PATROL
パトロール Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



PATROL
パトロール Y62



ARMADA
アルマダ



ELGRAND
エルグランド



NV350
CATALAN
NV350 キャラバン

日産車体九州

オートワークス京都



CIVILIAN
シビリアン



ATLAS
アトラス F24

グループのご紹介

特長



完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

■ LCVを中心とした多車種少量生産の一大拠点(湘南工場)



▶ モノコック車



▶ フレーム車

■ 2010年に稼動開始した日産グループの国内“最新鋭工場”
(日産車体九州)



▶ ローラーヘミングによるエンジン
フードの生産



▶ 新塗装技術

■ LCVで海外展開事業の基盤を強化



■ グループ内での一貫生産により、
高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2018年度第2四半期 連結決算概況

<累計>

2018年度 第2四半期 決算 <累計>

決算サマリー



北米向け「アルマーダ」等の減少があったものの、中近東向け「パトロール(Y61)(Y62)」や北米向け「インフィニティQX80」の増加等により、売上台数、売上高とも前年同期を上回ったが、営業利益は材料市況悪化のため減益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失の減少等により24億円を計上。

売上台数

前年同期比4千台増加の117千台。小型バスで台数がわずかに減少したものの、乗用車・商用車の台数が増加

売上高

台数増に伴い、前年同期比4.4%増の3,033億円

営業利益

売上高は増加したものの、材料市況の影響などにより、前年同期に対し7億円減益の33億円

親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

前年同期の特別損失の減少により前年同期に対し27億円増の24億円

2018年度 第2四半期 決算 <累計>

業績ハイライト

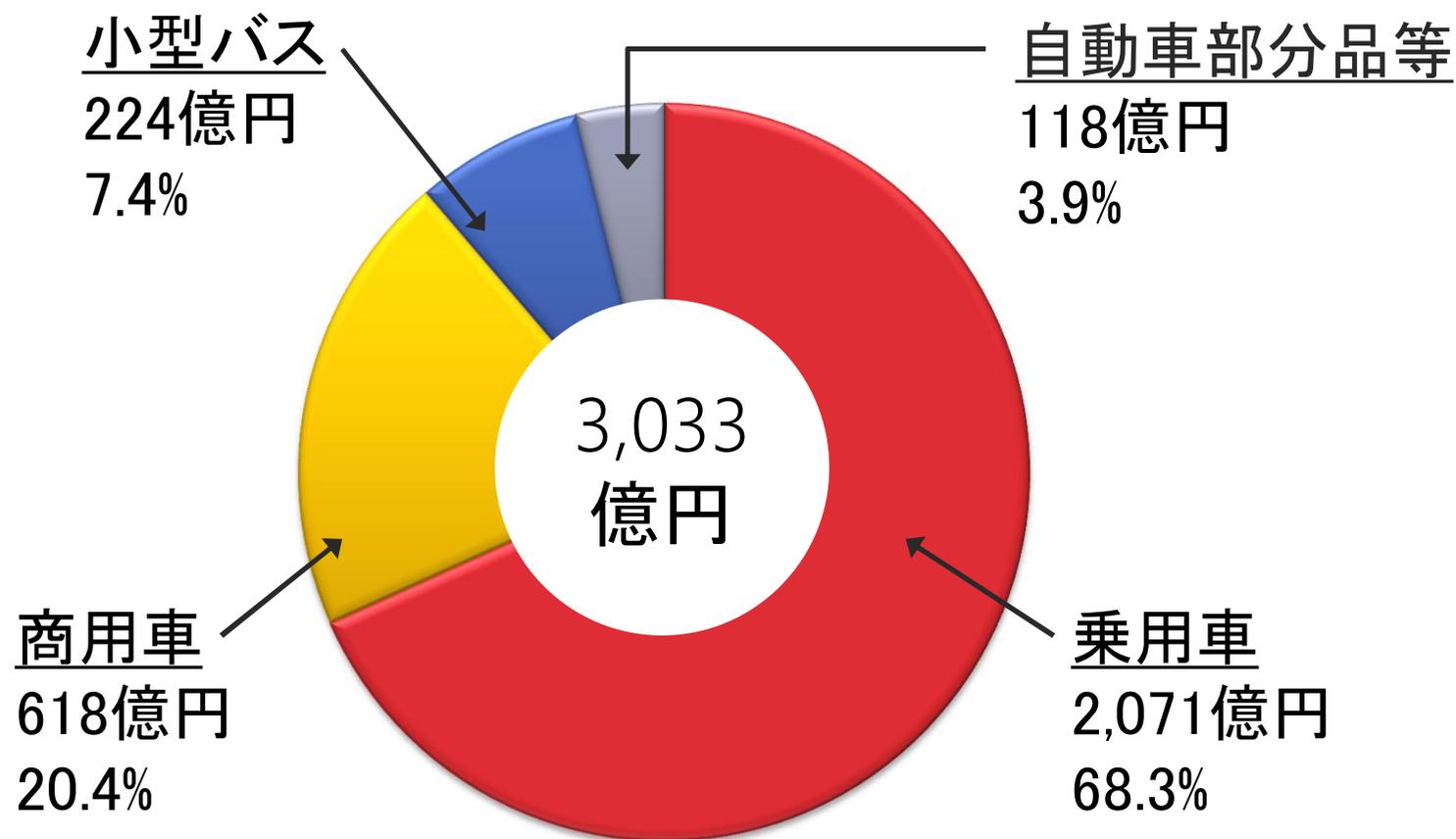


	2017年度 第2四半期 (2017/4~9)	2018年度 第2四半期 (2018/4~9)	増減額(率)		通期計画
売上高	2,906	3,033	126	4.4%	6,300
営業利益	40	33	▲7	▲17.7%	126
経常利益	43	35	▲7	▲17.9%	130
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (損失)	▲2	24	27	-	87

単位:億円

2018年度 第2四半期 決算 <累計>

品目別売上高構成比

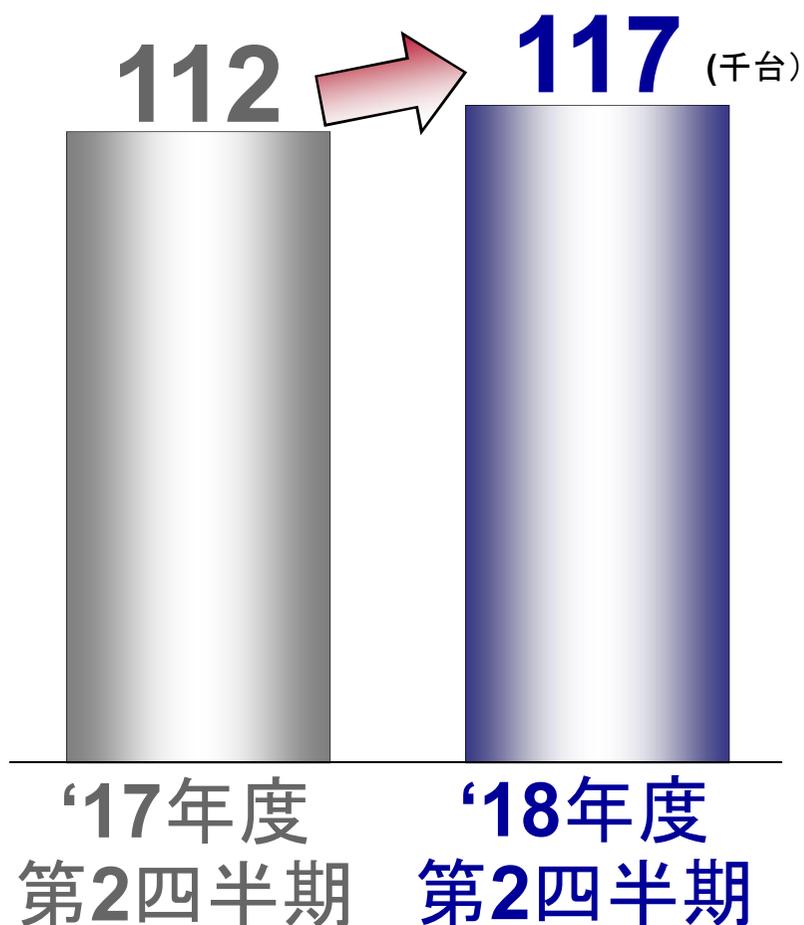


2018年度 第2四半期 決算 <累計>

売上台数



売上台数は前期比3.6%増の117千台



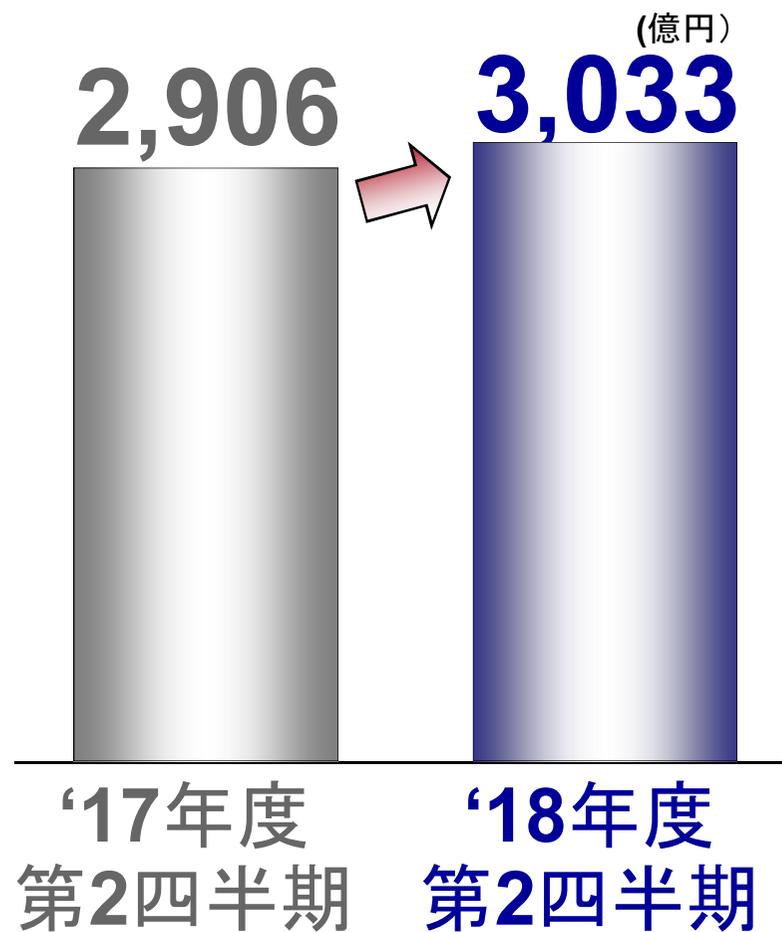
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	63	65	3.5%
商用車	38	40	5.7%
小型バス	12	11	▲2.4%
合計	112	117	3.6%

2018年度 第2四半期 決算 <累計>

売上高



売上高は前年同期比4.4%増の3,033億円



PATROL
パトロール・Y62



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



2018年度 第2四半期 決算 <累計>

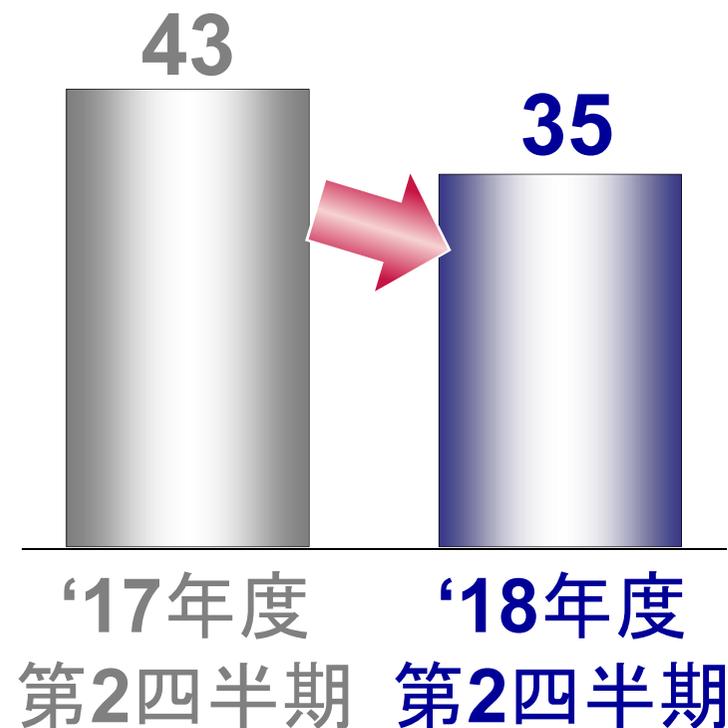
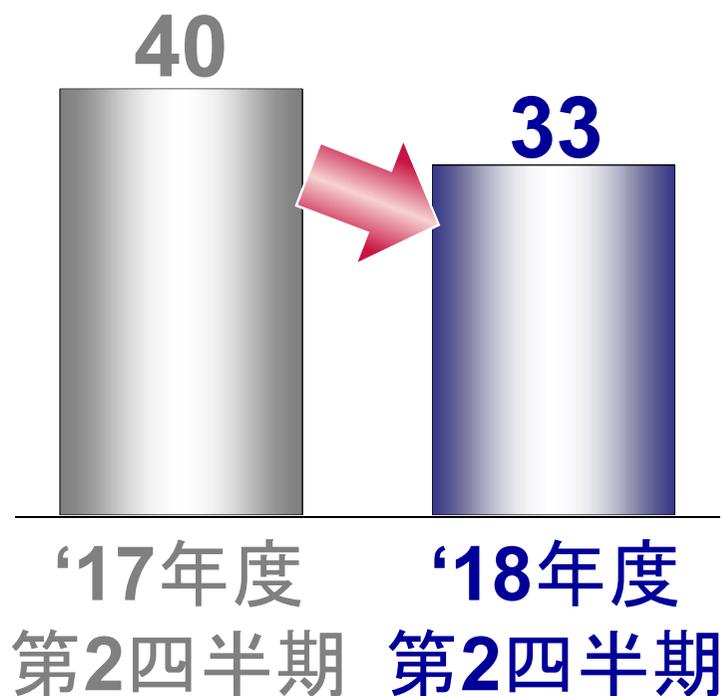
営業利益／経常利益



営業利益/経常利益とも前年同期を下回る

営業利益 (億円)

経常利益 (億円)

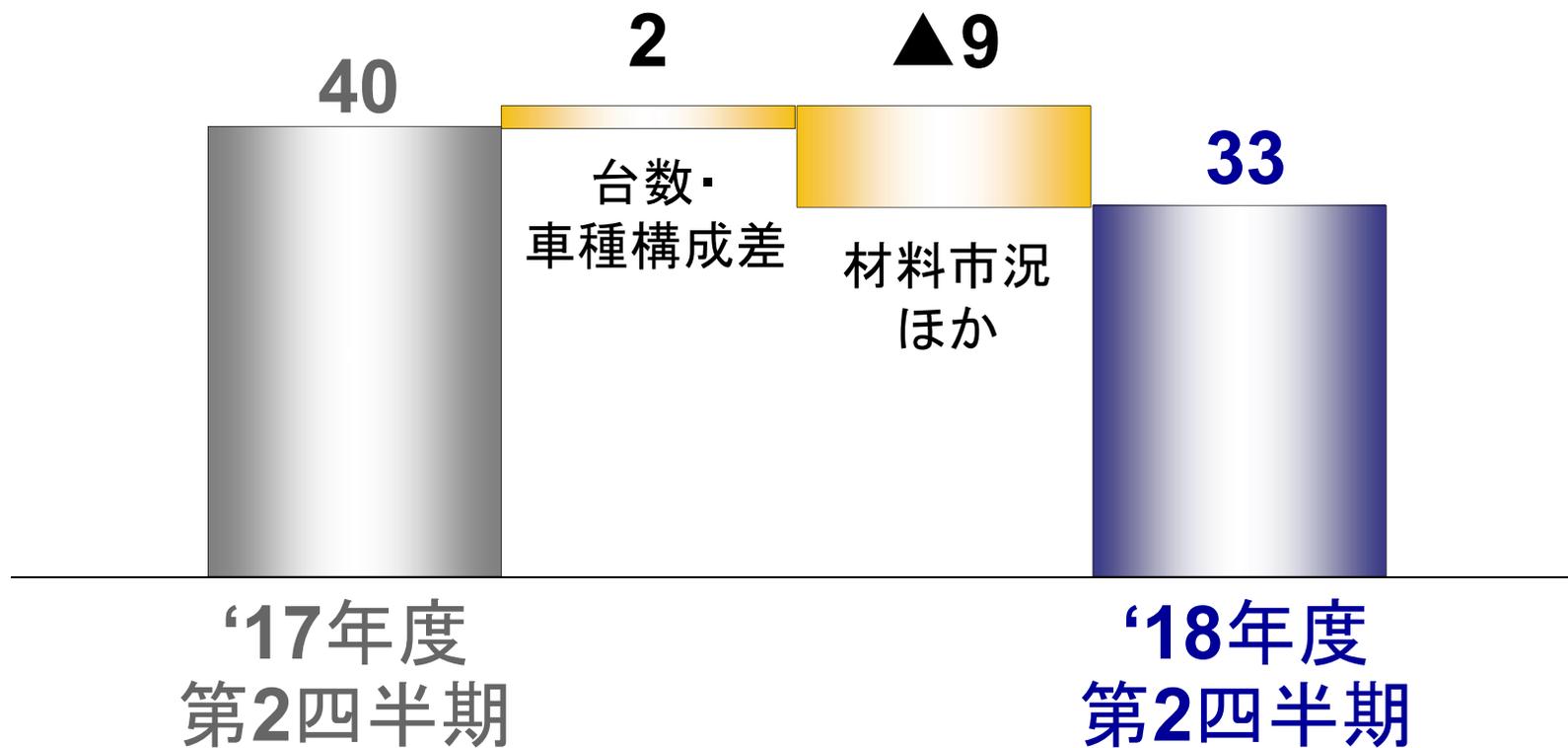


2018年度 第2四半期 決算 <累計>

営業利益の増減要因



(億円)

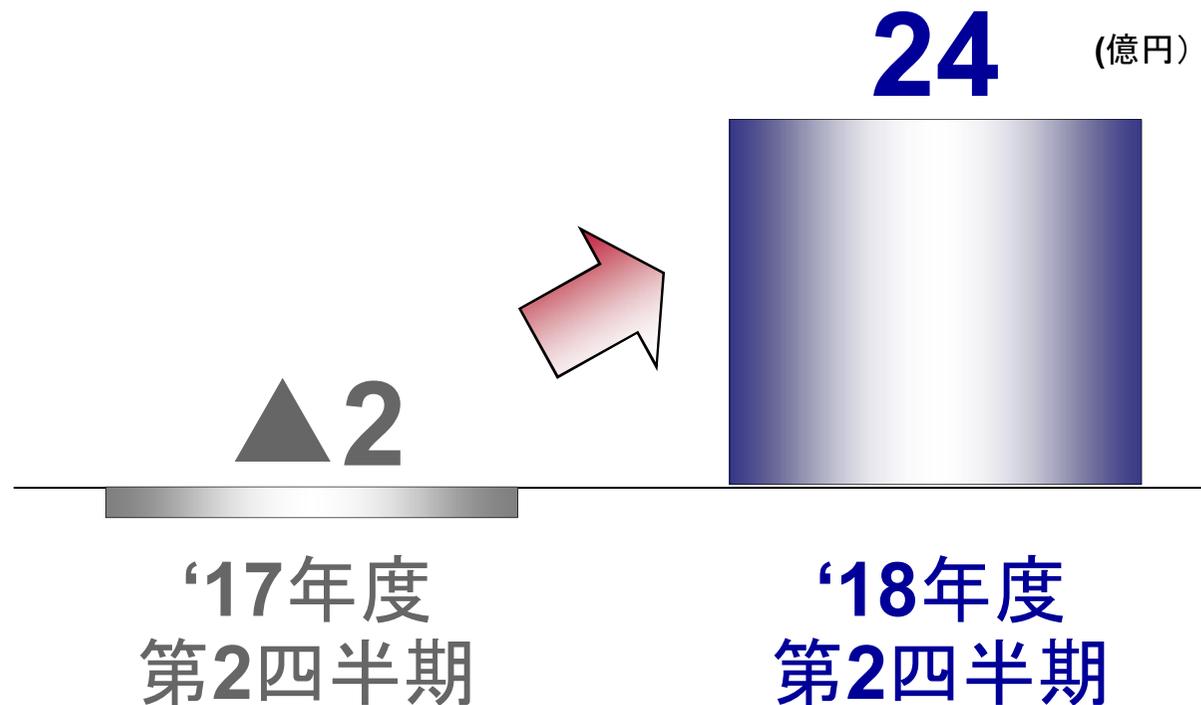


2018年度 第2四半期 決算 <累計>



親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

営業利益は減益となったものの、特別損失が減少した結果、**24億円**の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上



2018年度 1株当たり配当金

株主還元



持続的成長に向け、継続的な安定配当を実施

